

相手と自身を変える 1 dayワークショップ

認知症ケアセミナー

～攻撃的行為・不安症状・拒否へのアプローチ～

「認知症の方とのコミュニケーションが取れない」「そのために効果が出ない」
「拒否や暴力に対して何をしたらいいのかわからない」そんな悩みはありませんか？

認知症を正しく理解し、一人ひとりに合ったケアを
することで対象者は変化します！

開催日 平成28年9月14日（水）

場 所 在宅看護研究センターおおさか
東大阪市森河内西1-34-21

時 間 10:00～16:00

受講料 7,560円（税込）

定 員 20名



セミナー内容

- 症状別の対応とヒント
- 一人ひとりに合わせたケアの考え方
- ハンドリングと声かけの基本・重要性
- 接し方の実際・ロールプレイング



講師 Natural being 代表 福辺節子

理学療法士・医科学修士・介護支援専門員

大学在学中に事故で左下肢を切断し義足となる。
訪問リハや理学療法士養成校の教員等を経て、
現在セミナー・講演会・講習会等の講師、
施設や在宅での介助やリハビリテーションアドバイザーとして活動中。

テレビ出演：「NHKためしてガッテン」「NHK eテレ らくらくワンポイント介護」

書籍等：「力のいらない介助術」「人生はリハビリテーションだ」
「介護の基本技法ハンドブック」「生活づくりのシーティング」
「ユーキャンの介護術大百科」「本当に役立つ介護術」など

受講生の声

- ★シンプル且つわかりやすい！
- ★自分の声かけが通じない理由がわかったように思う。
- ★介助、もう一度最初からやり直します。
- ★在宅で家族を抱える家族へ伝えていきます。
- ★背中を押していただきました。
- ★「目をみて介助する」をやってみたらすごくうまくいきビックリ！利用者さんがとても嬉しそうだった。
- ★介護度の高い方の反応が変化し、して下さることが増えてきたことを実感している。
- ★ロールプレイが面白かった。
- ★認知障害が深く、介護度の高い方の反応が変わって、して下さることが増えてきたという実感がある。
- ★介助の奥深さを改めて実感した。当たり前だけど、深くて難しい。このように深く考え実践していかないと専門職とは言えないと実感した。

認知症in大阪 受講申込書

※は必ず記入してください

※ふりがな		※連絡先ご住所	〒
※氏名			(ご自宅・勤務先 どちらかに、○をしてください)
※電話番号		※連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 郵送
FAX番号		※メールアドレス (お持ちの方)	
※職種		勤務先名 (住所が勤務先の場合)	